

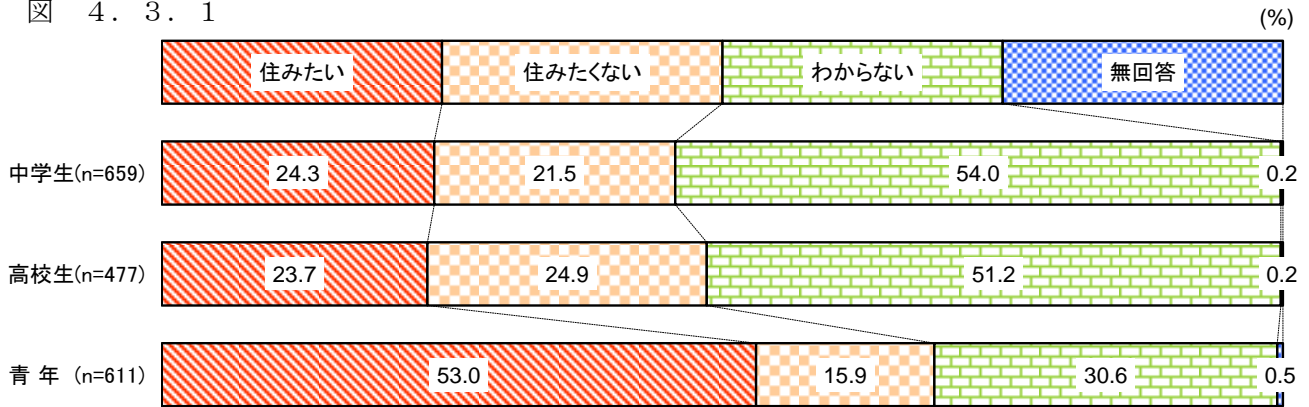
3 地域社会

(1) 居住意向（中学生、高校生、青年）

あなたは、今住んでいるところに大人になってからも住みたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 住みたい 2 住みたくない 3 わからない

図 4. 3. 1

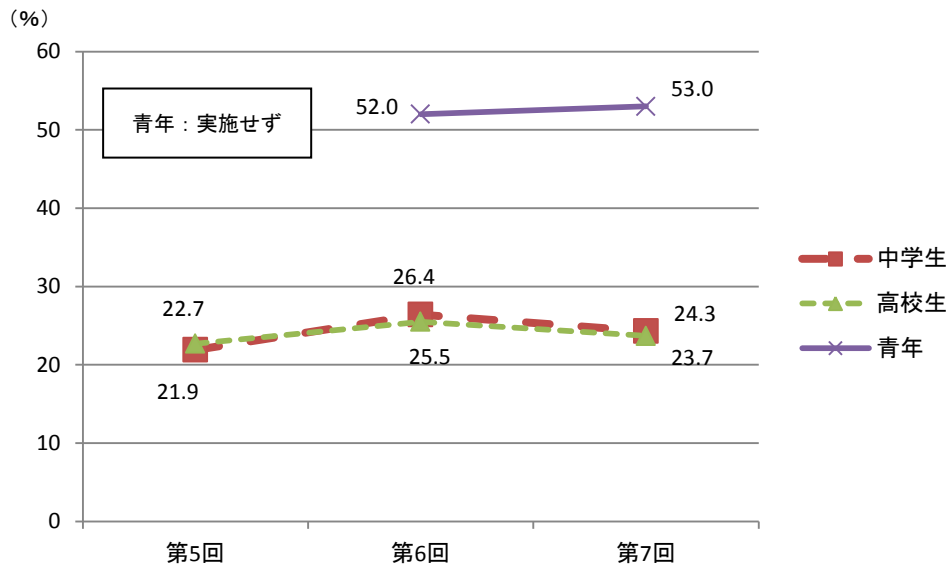


中学生、高校生、青年に、今住んでいるところに大人になってからも住みたいかを聞いたところ、中学生の54.0%、高校生の51.2%が「わからない」と回答しています。

青年では、53.0%が「住みたい」と回答しており、「わからない」の30.6%、「住みたくない」の15.9%を上回っています。

過年度調査との比較

図 4. 3. 2 「住みたい」

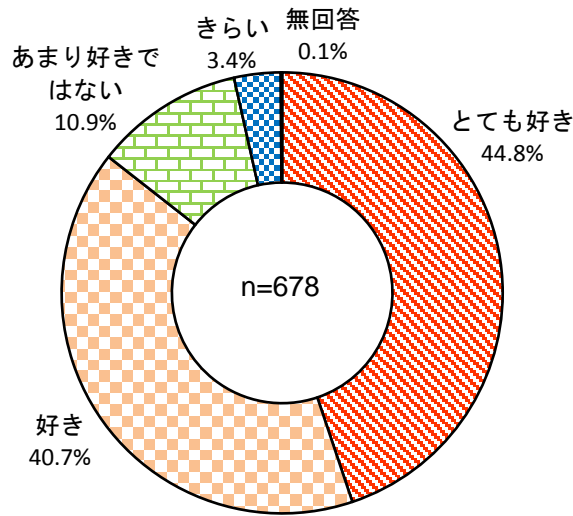


第5回、第6回調査と比較すると、「住みたい」と答えた人の割合は、中学生、高校生ともに第5回調査から25%前後で推移しています。第6回調査から対象に加わった青年でも、ほぼ横ばいの数値となっています。

(2) 居住環境 (小学生)

あなたは、いま住んでいるところは好きですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。
 1 とても好き 2 好き 3 あまり好きではない 4 きれい

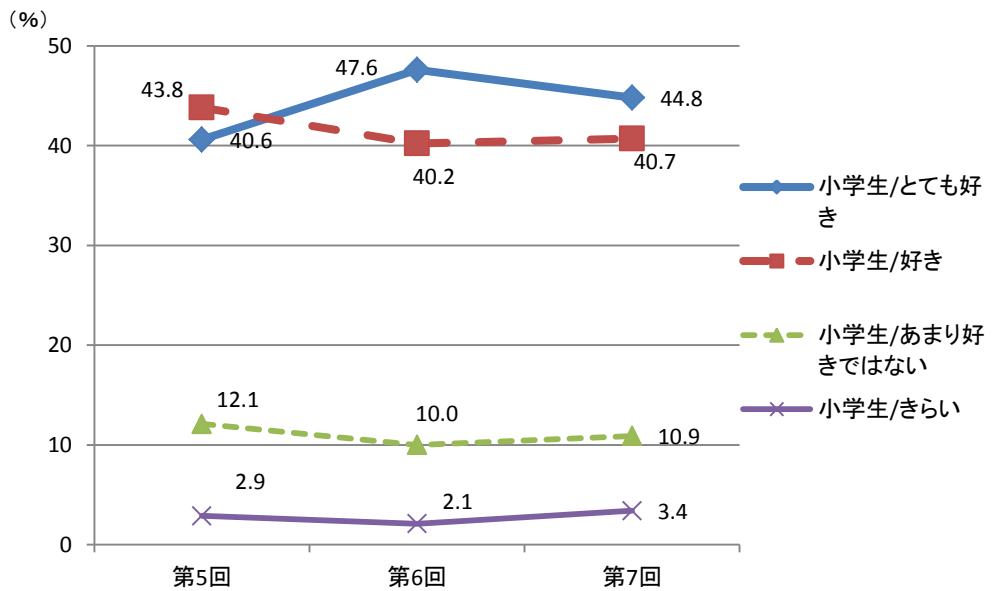
図 4. 3. 3



小学生に、いま住んでいる地域が好きかを聞いたところ、「とても好き」が44.8%、「好き」が40.7%と、計85.5%の人がいま住んでいる地域を好きと回答しています。

過年度調査との比較

図 4. 3. 4 「とても好き」「好き」「あまり好きではない」「きれい」



第5回、第6回調査と比較すると、おおむね同水準で推移しています。

(3) 地域活動

ア. 地域活動への参加（小学生、中学生、高校生、青年、保護者）

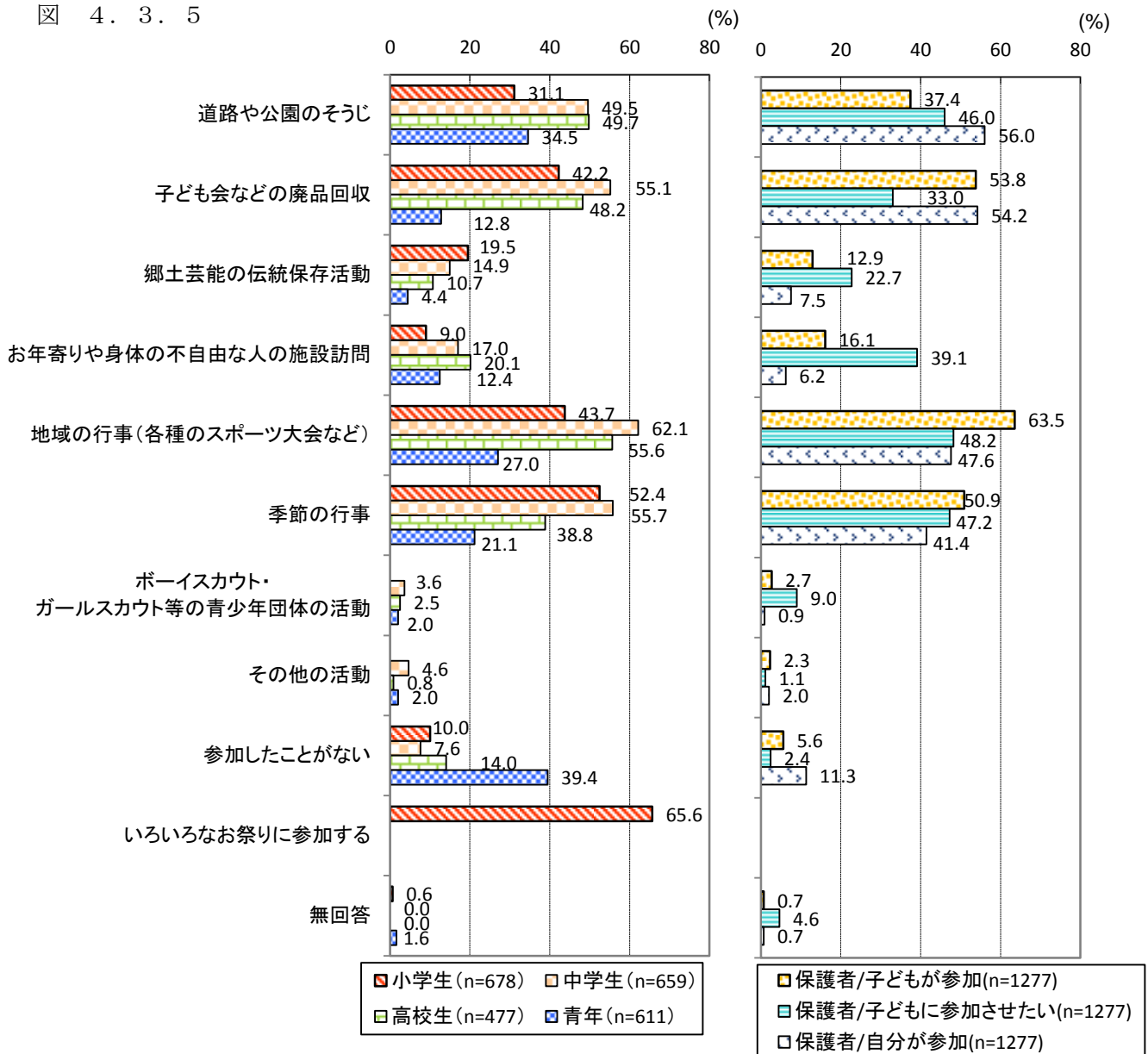
あなたは、次のような地域の活動に参加したことがありますか。参加したことがあるものを全部選んで番号に○をつけてください。

- 1 道路や公園のそうじ
- 2 子ども会などの廃品回収
- 3 郷土芸能の伝統保存活動
- 4 お年寄りや身体の不自由な人の施設訪問
- 5 地域の行事（各種のスポーツ大会など）
- 6 季節の行事（どんどやきなど）
- 7 ボーイスカウト・ガールスカウト等の青少年団体の活動
- 8 その他の活動（ ）
- 9 参加したことがない

※「小学生」では、「ボーイスカウト・ガールスカウト等の青少年団体の活動」と「その他の活動」は聴取していない

※「小学生」にのみ「いろいろなお祭りに参加する」を聴取

図 4. 3. 5



小学生、中学生、高校生、青年に、地域活動への参加について聞いたところ、小学生は「いろいろなお祭りに参加する」が 65.6%で最も多く、次いで「季節の行事」(52.4%)、「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(43.7%)と続いています。中学生では「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(62.1%)、「季節の行事」(55.7%)、「子ども会などの廃品回収」(55.1%)、高校生では「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(55.6%)、「道路や公園のそうじ」(49.7%)、「子ども会などの廃品回収」(48.2%)の順に多くなっています。また、青年では「道路や公園のそうじ」(34.5%)、「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(27.0%)が多いですが、「参加したことがない」と 39.4%が回答しており、各種活動への参加率は小学生、中学生、高校生よりも大幅に低くなっています。

保護者に、子どもの地域活動について聞いたところ、子どもが参加している割合が高いのは、「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(63.5%)、「子ども会などの廃品回収」(53.8%)、「季節の行事」(50.9%)となっています。また、子どもに参加させたい地域活動は、「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(48.2%)、「季節の行事」(47.2%)、「道路や公園のそうじ」(46.0%)の回答が多くなっています。

過年度調査との比較

図 4. 3. 6 「地域の行事」

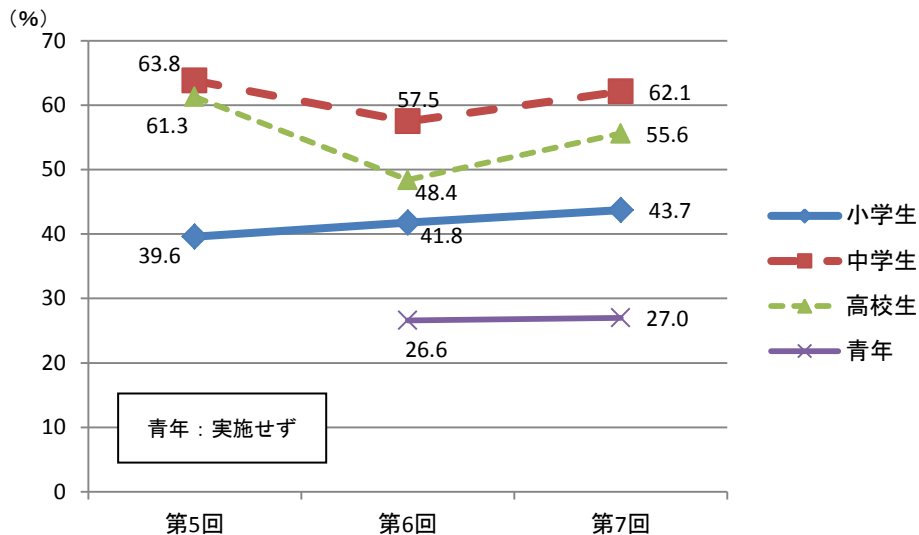


図 4. 3. 7 「郷土芸能の伝統保存活動」

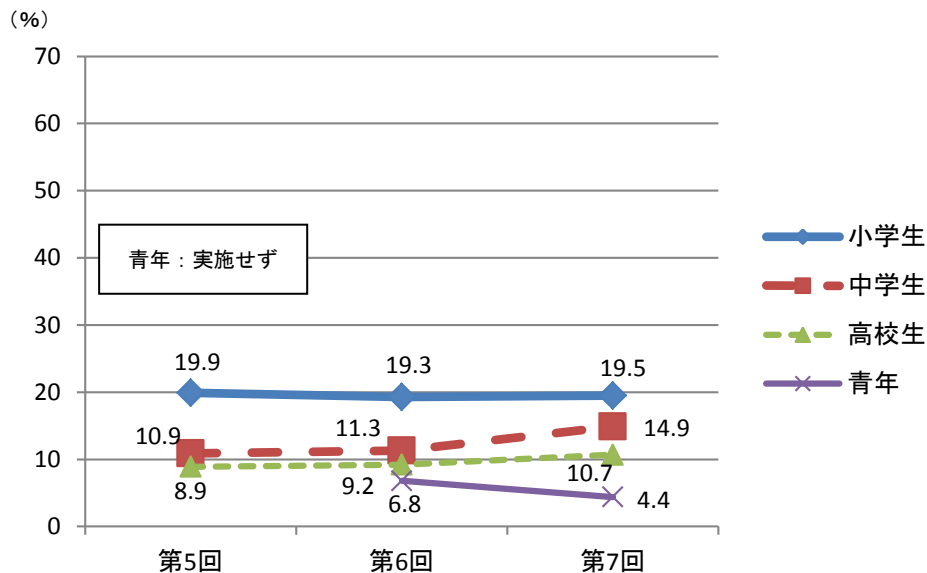
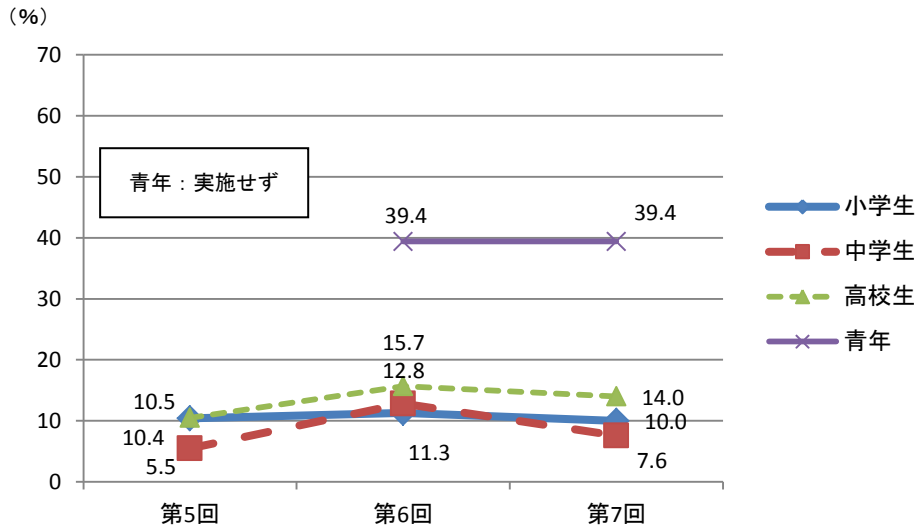


図 4. 3. 8 「参加したことがない」



第5回、第6回調査と比較すると、第6回調査では各活動とも全体的に減少傾向で、「参加したことがない」が増加傾向にありましたが、今回調査では「参加したことがない」の割合は各年代で減少しています。

今回調査で増加傾向にある活動としては、「地域の行事」が各年代で増加しているほか、小学生の「いろいろなお祭りに参加する」、中学生・高校生の「郷土芸能の伝統保存活動」などが挙げられます。

得意なものや自信のあるものとの関係

図 4. 3. 9

(%)

	n=	道路や公園のそうじ	子ども会などの廃品回収	郷土芸能の伝統保存活動	お年寄りや身体の不自由な人の施設訪問	地域の行事	季節の行事	ボーイスカウト・ガールスカウト等の青少年団体の活動	その他の活動	参加したことがない	無回答
中学生／全体	659	49.5	55.1	14.9	17.0	62.1	55.7	3.6	4.6	7.6	0.0
中学生／ある群	562	51.2	56.0	15.7	18.5	63.7	57.3	3.9	4.3	6.2	0.0
中学生／ない群	97	39.2	49.5	10.3	8.2	52.6	46.4	2.1	6.2	15.5	0.0
高校生／全体	477	49.7	48.2	10.7	20.1	55.6	38.8	2.5	0.8	14.0	0.0
高校生／ある群	395	51.6	48.1	12.2	21.8	59.0	39.2	2.8	0.8	12.4	0.0
高校生／ない群	82	40.2	48.8	3.7	12.2	39.0	36.6	1.2	1.2	22.0	0.0

中学生、高校生の各年代において、「得意なものや自信のあるもの」が「ある群」は「ない群」よりも各地域活動への参加割合が高く、「参加したことがない」と回答した人の割合が低くなっています。

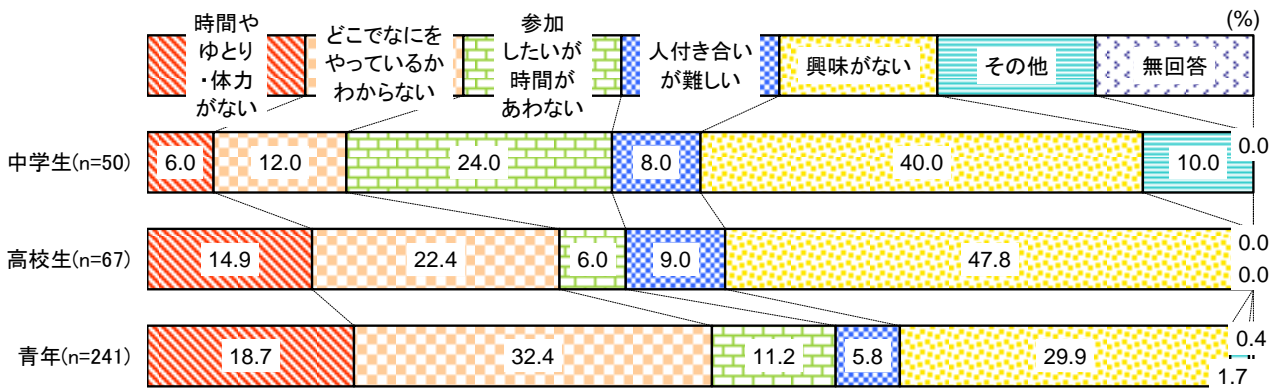
特に、中学生の「道路や公園のそうじ」、「地域の行事」、「季節の行事」、高校生の「道路や公園のそうじ」、「地域の行事」においては、「ある群」と「ない群」では、「参加したことがある」との回答割合に10ポイント以上の差がみられています。

イ. 中学生、高校生、青年の地域活動に参加しない理由

前問で「9 参加したことがない」と答えた人のみ、地域の活動に参加しない理由は何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 時間やゆとり・体力がない | 2 どこでなにをやっているかわからない |
| 3 参加したいが時間があわない | 4 人付き合いが難しい |
| 5 興味がない | |
| 6 その他 () | |

図 4. 3. 1 0



地域活動に参加したことがない中学生、高校生、青年に、地域活動に参加しない理由について聞いたところ、中学生の40.0%、高校生の47.8%が「興味がない」と回答しています。次いで、中学生では「参加したいが時間があわない」が24.0%、高校生では「どこでなにをやっているかわからない」が22.4%で多くなっています。青年では、「どこでなにをやっているかわからない」が32.4%で最も多く、次いで「興味がない」が29.9%となっています。

過年度調査との比較

図 4. 3. 1 1 「時間やゆとり・体力がない」

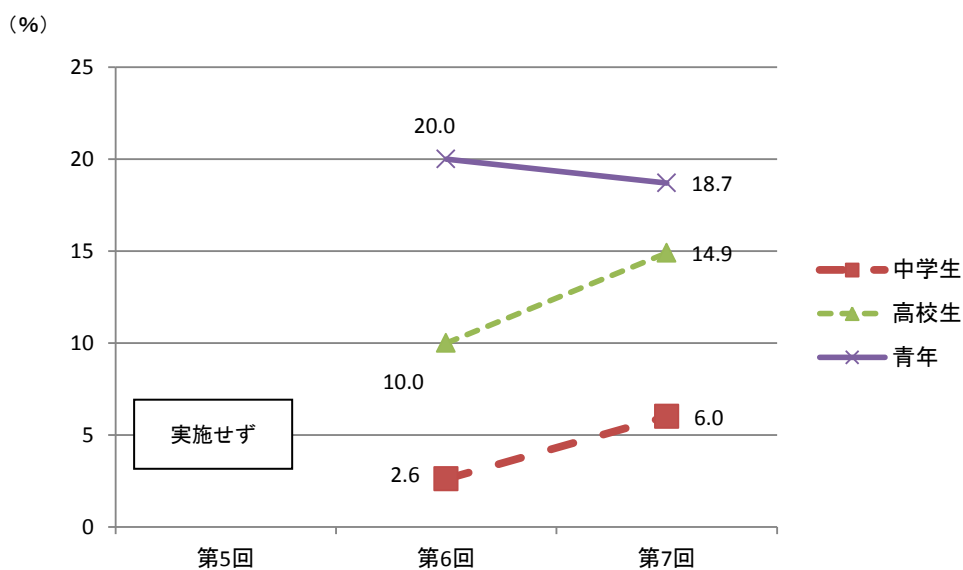


図 4.3.12 「どこでなにをやっているかわからない」

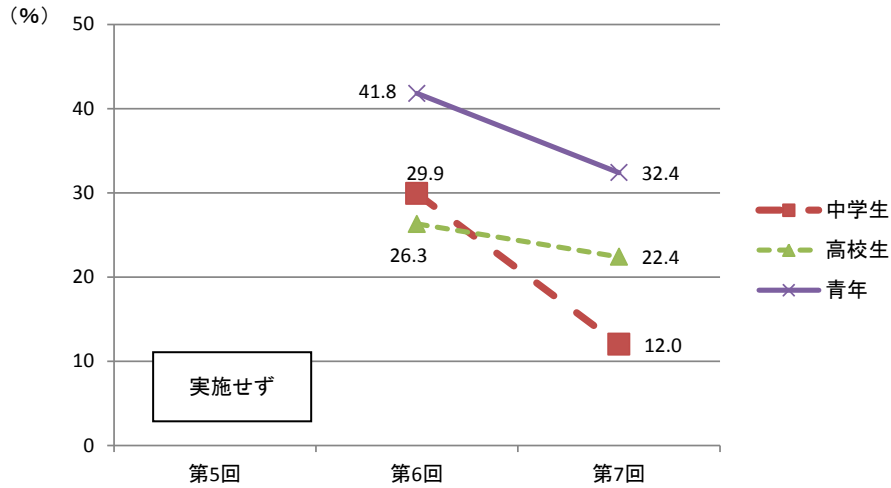
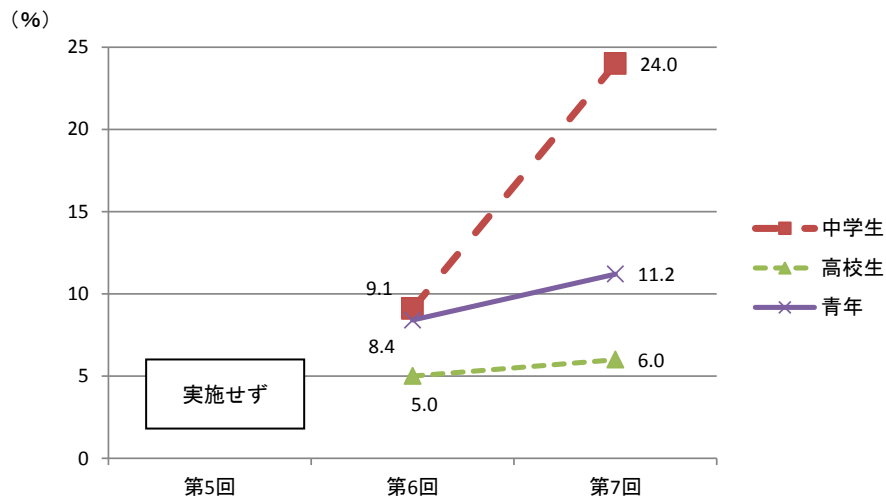


図 4.3.13 「参加したいが時間があわない」



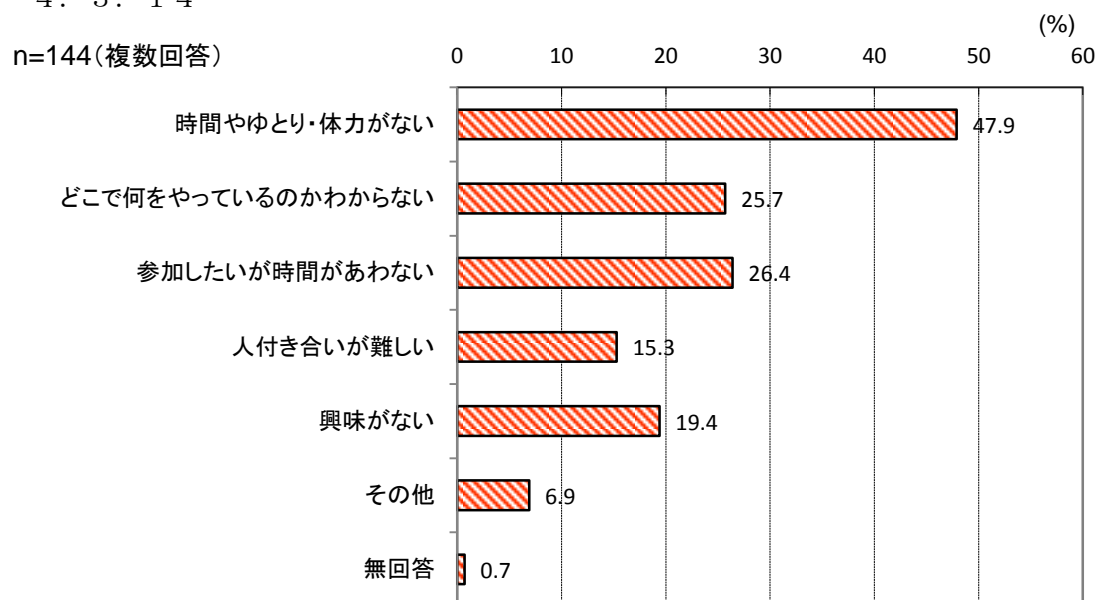
第6回調査と比較すると、各年代で、「どこでなにをやっているかわからない」が減少している一方で、中学生、高校生で「時間やゆとり・体力がない」が増加し、また中学生で「参加したいが時間があわない」が、9.1%から24.0%へと大きく増加しています。

ウ. 地域活動に参加しない理由（保護者）

前問で「9 参加していない」とお答えの方に伺います。あなたが地域の活動に参加していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

1 時間やゆとり・体力がない	2 どこで何をやっているかわからない
3 参加したいが時間があわない	4 人付き合いが難しい
5 興味がない	
6 その他（	）

図 4. 3. 14



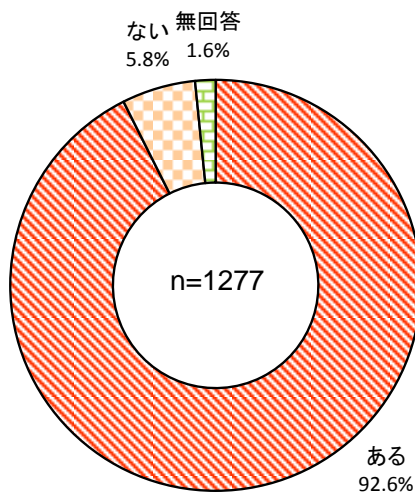
地域活動に参加しない保護者に、理由を聞いたところ、「時間やゆとり・体力がない」が 47.9%で最も多く、次いで「参加したいが時間があわない」(26.4%)、「どこで何をやっているのかわからない」(25.7%)、「興味がない」(19.4%)と続いています。

エ. 子どもの頃の地域活動参加経験（保護者）

あなた自身は子どもの頃、地域の活動に参加したことがありますか。次のどちらか1つに○をつけてください。

- 1 ある 2 ない

図 4. 3. 15



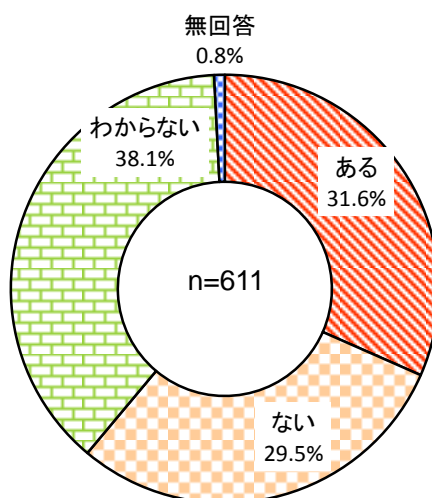
保護者に、子どもの頃の地域活動参加経験を聞いたところ、「ある」が92.6%と、「ない」の5.8%を大幅に上回っています。

(4) 地域づくり等への参加意向（青年）

今住んでいるところの地域づくりや街づくりに参画していく気持ちがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 ある 2 ない 3 わからない

図 4. 3. 16 地域づくり等への参加意向（青年）



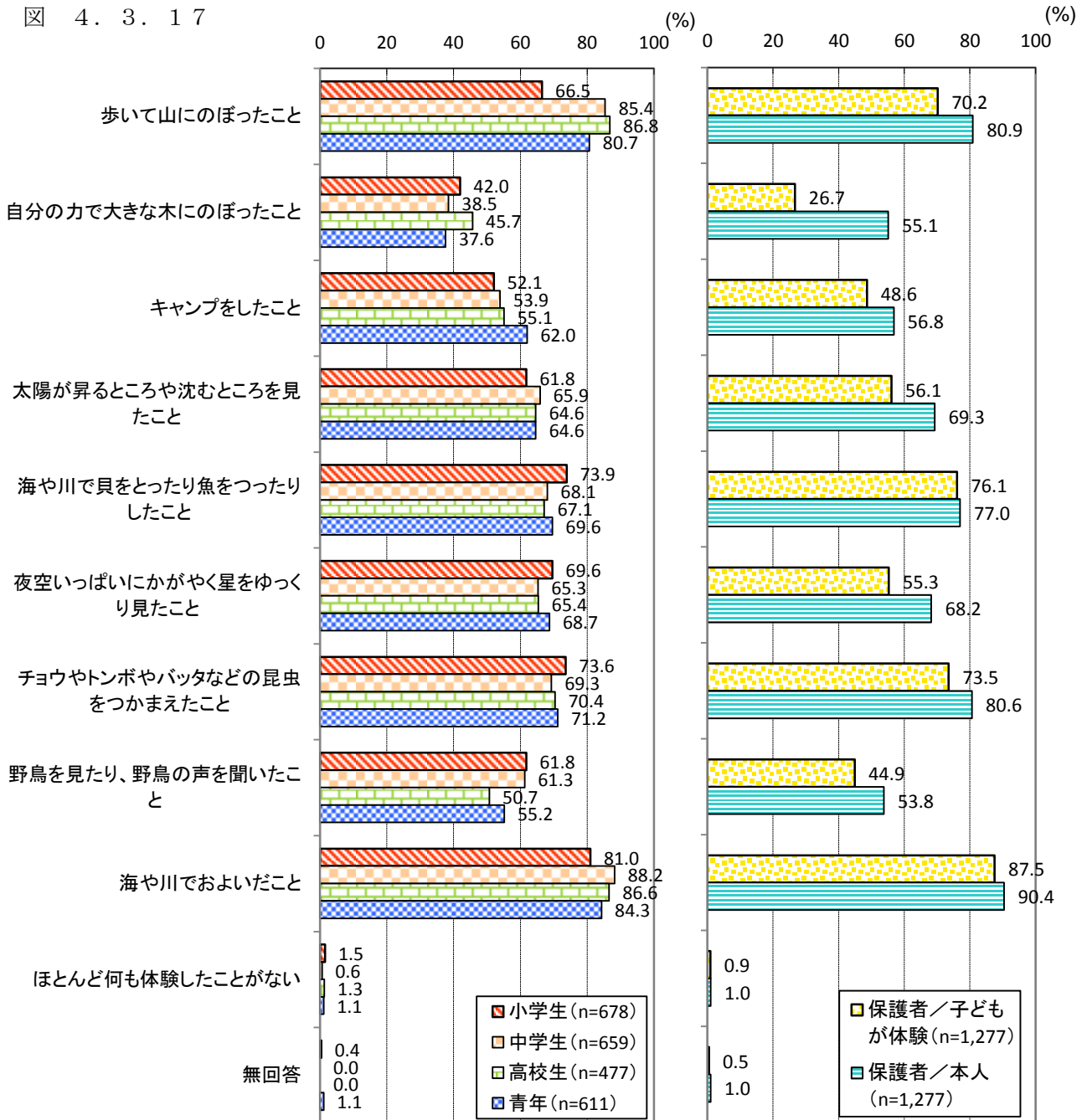
青年に、地域づくり等への参加意向を聞いたところ、「わからない」が38.1%と最も多く、「ある」は31.6%となっています。

(5) 今までに体験したこと（小学生、中学生、高校生、青年、保護者）

あなたは今までに次のような体験をしたことがありますか。あてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

- 1 歩いて山にのぼったこと
- 2 自分の力で大きな木にのぼったこと
- 3 キャンプをしたこと
- 4 太陽が昇るところや沈むところを見たこと
- 5 海や川で貝をとったり魚をつったりしたこと
- 6 夜空いっぱいにかがやく星をゆっくり見たこと
- 7 チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと
- 8 野鳥を見たり、野鳥の声を聞いたこと
- 9 海や川でおよいだこと
- 10 ほとんど何も体験をしたことがない

図 4. 3. 17



小学生、中学生、高校生、青年、保護者に、今までに体験したことを聞いたところ、小学生では、「海や川でおよいだこと」(81.0%)、「海や川で貝をとったり魚をつったりしたこと」(73.9%)、「歩いて山にのぼったこと」(66.5%)、中学生では、「海や川でおよいだこと」(88.2%)、「歩いて山にのぼったこと」(85.4%)、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」(69.3%)、高校生では、「歩いて山にのぼったこと」(86.8%)、「海や川でおよいだこと」(86.6%)、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」(70.4%)、の順に多くなっています。

青年では、「海や川でおよいだこと」(84.3%)、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」(71.2%)、「海や川で貝をとったり魚をつったりしたこと」(69.6%)となっています。

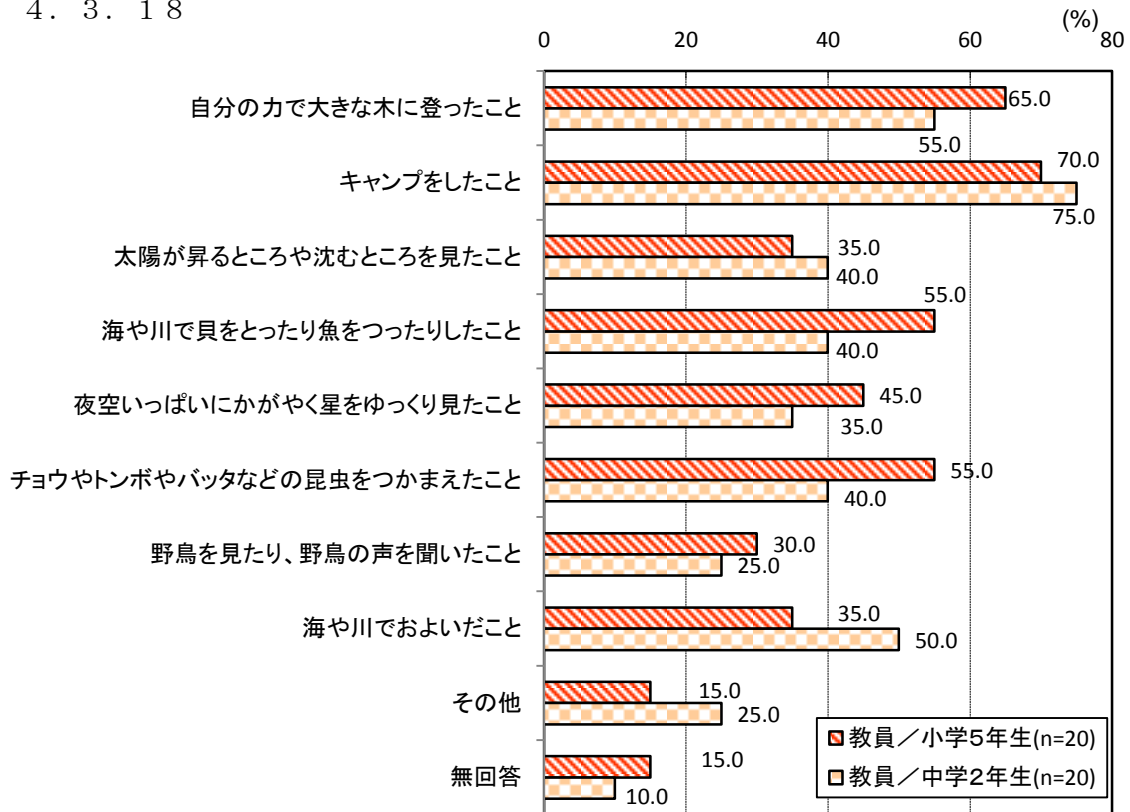
保護者では、保護者本人の体験では、「海や川でおよいだこと」(90.4%)、「歩いて山にのぼったこと」(80.9%)、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」(80.6%)、子どもの体験では、「海や川でおよいだこと」(87.5%)、「海や川で貝をとったり魚をつったりしたこと」(76.1%)、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」(73.5%)となっています。

■教員の回答との比較（児童生徒の自己肯定感を高めるために必要な経験）

児童生徒の自己肯定感を高めるには、どのような体験が必要と考えますか。あてはまるものすべてに番号に○をつけてください。

1 自分の力で大きな木に登ったこと 2 キャンプをしたこと
 3 太陽が昇るところや沈むところを見たこと 4 海や川で貝をとったり魚をつったりしたこと
 5 夜空いっぱいにかがやく星をゆっくり見たこと
 6 チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと 7 野鳥を見たり、野鳥の声を聞いたこと
 8 海や川でおよいだこと 9 その他（ ）

図 4. 3. 18



教員に、児童生徒の自己肯定感を高めるために必要な経験を聞いたところ、小学校、中学校の教員ともに「キャンプをしたこと」が最も多く、それぞれ 70.0%、75.0%となっています。次いで「自分の力で大きな木に登ったこと」が、小学校の教員：65.0%、中学校の教員：55.0%で続いています。その次に、小学校の教員は「海や川で貝をとったり魚をつったりしたこと」、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」（いずれも 55.0%）、中学校の教員は「海や川でおよいだこと」（50.0%）が多くなっています。

(6) 近所の人にあったときのあいさつ (小学生、中学生、高校生)

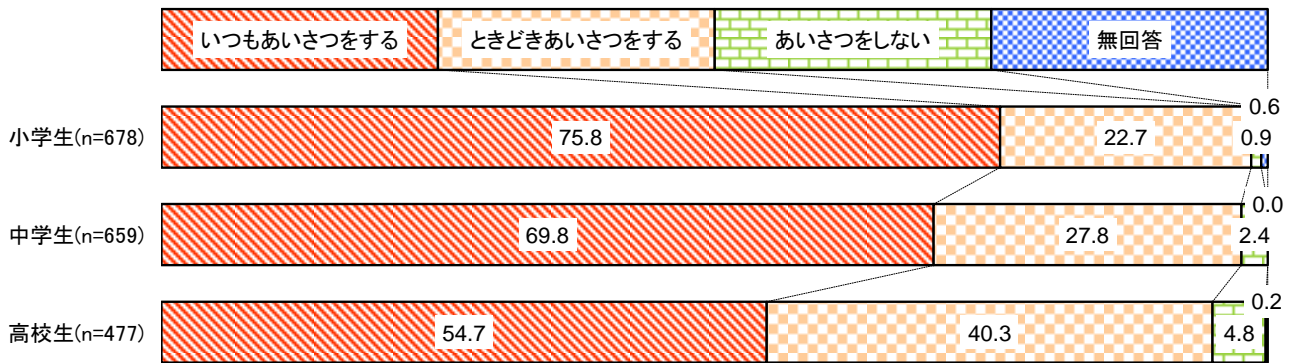
あなたは、顔なじみの近所の人にあったら、あいさつをしますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 いつもあいさつをする 2 ときどきあいさつをする 3 あいさつをしない

※「小学生」では、はい・ときどき・いいえの選択肢で聴取

図 4. 3. 19

(%)

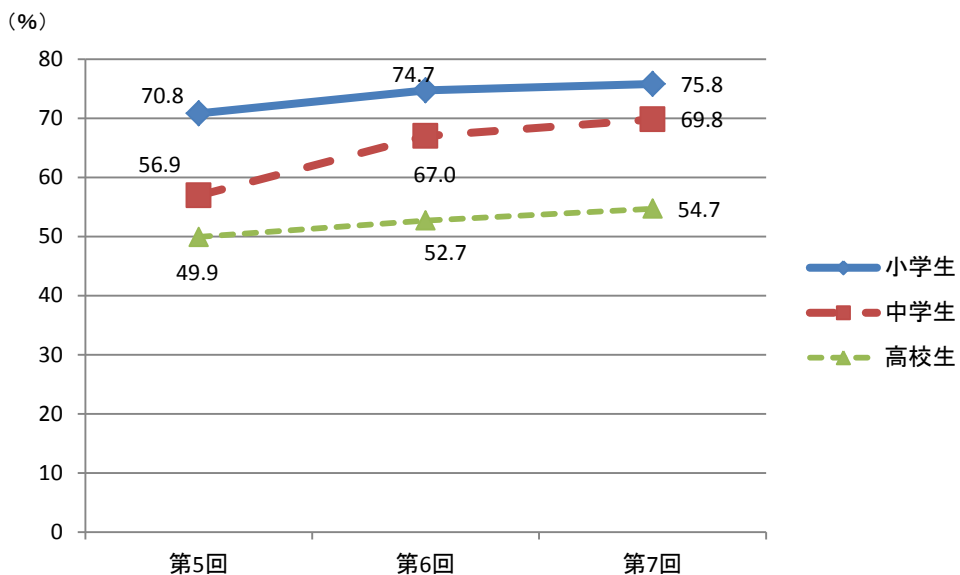


小学生、中学生、高校生に、近所の人にあいさつをするかを聞いたところ、小学生、中学生、高校生ともに「いつもあいさつをする」「ときどきあいさつをする」を合計した割合が、90%を超えています。

「いつもあいさつをする」との回答は、小学生では 75.8%、中学生では 69.8%、高校生では 54.7%と、学年が上がるにつれ割合は減っています。

過年度調査との比較

図 4. 3. 20 「いつもあいさつをする」

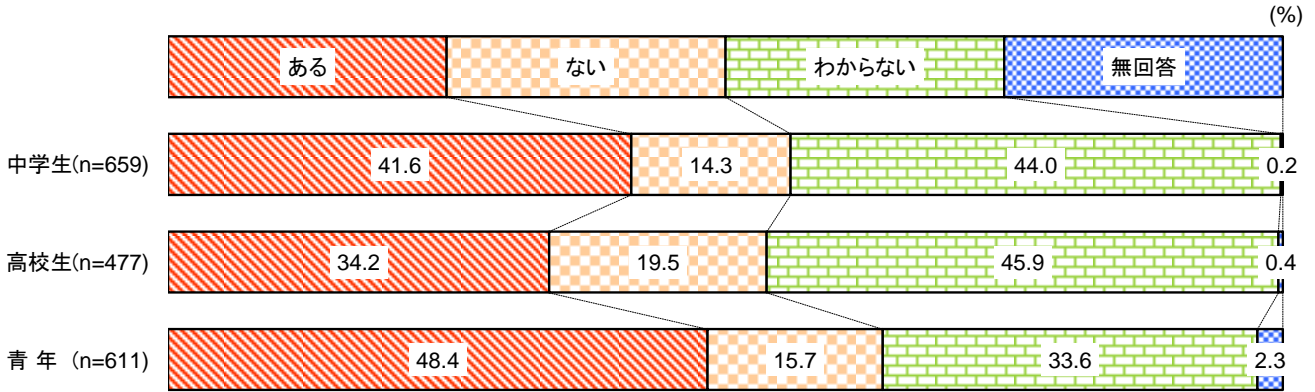


第5回、第6回調査と比較すると、「いつもあいさつをする」と回答した割合は、各年代で増加傾向にあります。特に中学生では、第5回調査の 56.9%から、今回調査は 69.8%へと 12.9 ポイント増加しています。

(8) ボランティアへの参加意思 (中学生、高校生、青年)

あなたは、今後ボランティア活動に参加する意思がありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。
 1 ある 2 ない 3 わからない

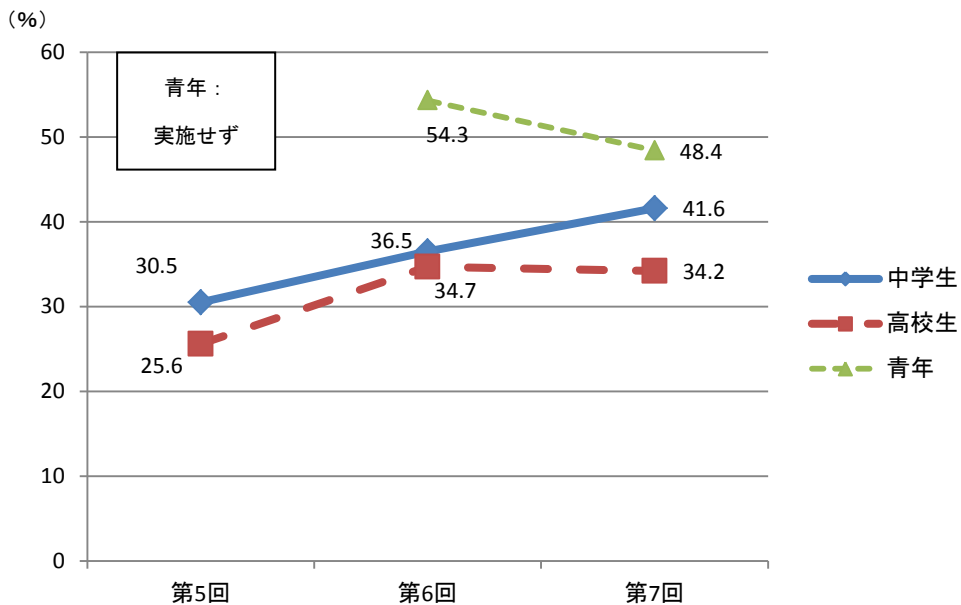
図 4. 3. 2 3



中学生、高校生、青年に、ボランティア活動への参加意思を聞いたところ、中学生、高校生では「わからない」がそれぞれ44.0%、45.9%と、「ある」(中学生：41.6%、高校生：34.2%)を上回っています。青年は、「ある」が48.4%、「わからない」が33.6%と、中学生、高校生に比べて「ある」の割合が高くなっています。

過年度調査との比較

図 4. 3. 2 4 ボランティアへの参加意思「ある」



第5回、第6回調査と比較すると、「ある」と回答した割合は、中学生では、第5回調査の30.5%から、今回調査の41.6%へと増加傾向にあります。高校生では、第6回調査の34.7%からは下回っていますが、第5回調査の25.6%よりは上回っています。

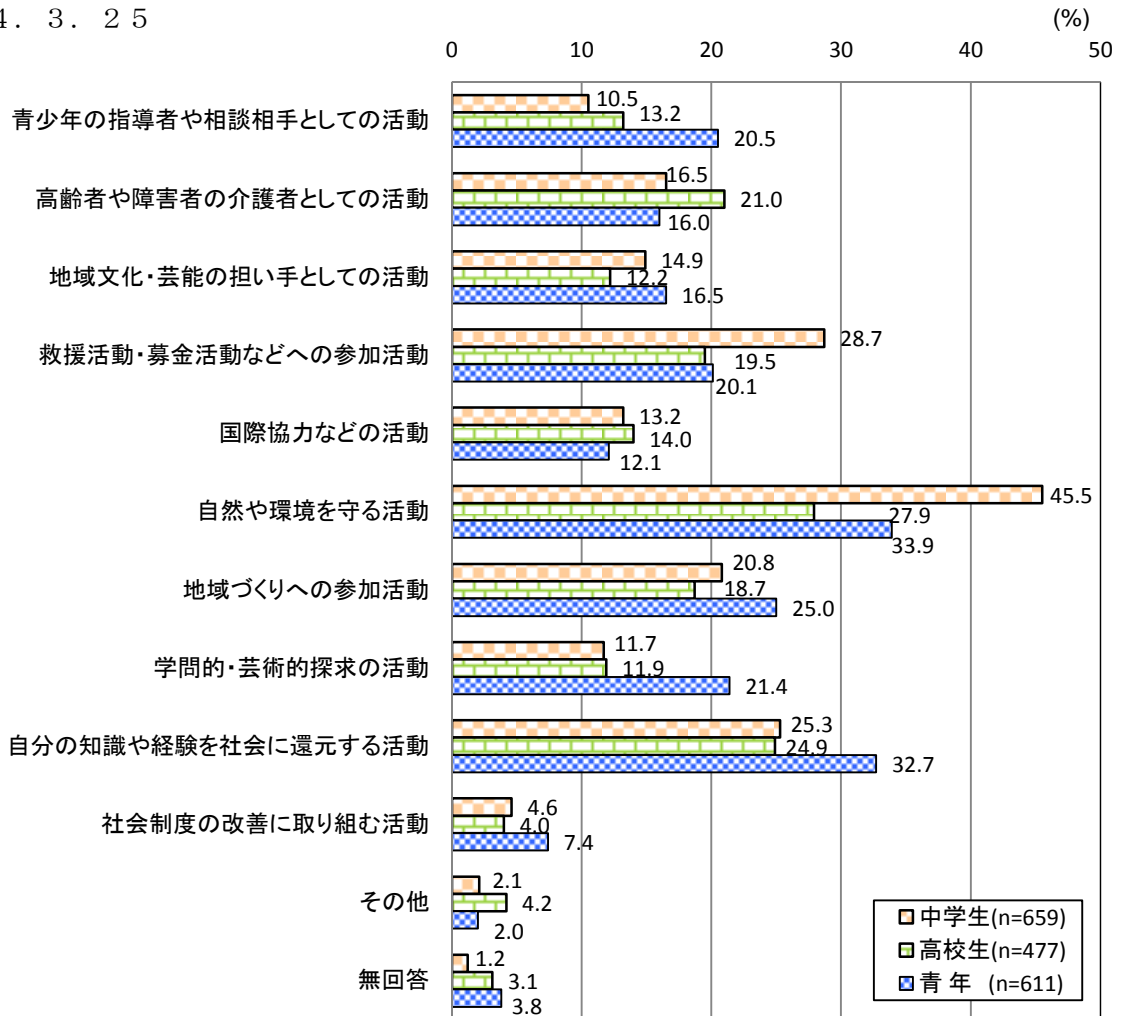
青年は、第6回調査の54.3%から今回調査では5.9ポイント減少しています。

(9) 社会貢献活動（中学生、高校生、青年）

あなたは、今後、どのような活動を通して社会に貢献していきたいと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。

1 青少年の指導者や相談相手としての活動	2 高齢者や障害者の介護者としての活動
3 地域文化・芸能の担い手としての活動	4 救援活動・募金活動などへの参加活動
5 国際協力などの活動	6 自然や環境を守る活動
7 地域づくりへの参加活動	8 学問的・芸術的探求の活動
9 自分の知識や経験を社会に還元する活動	10 社会制度の改善に取り組む活動
11 その他（	）

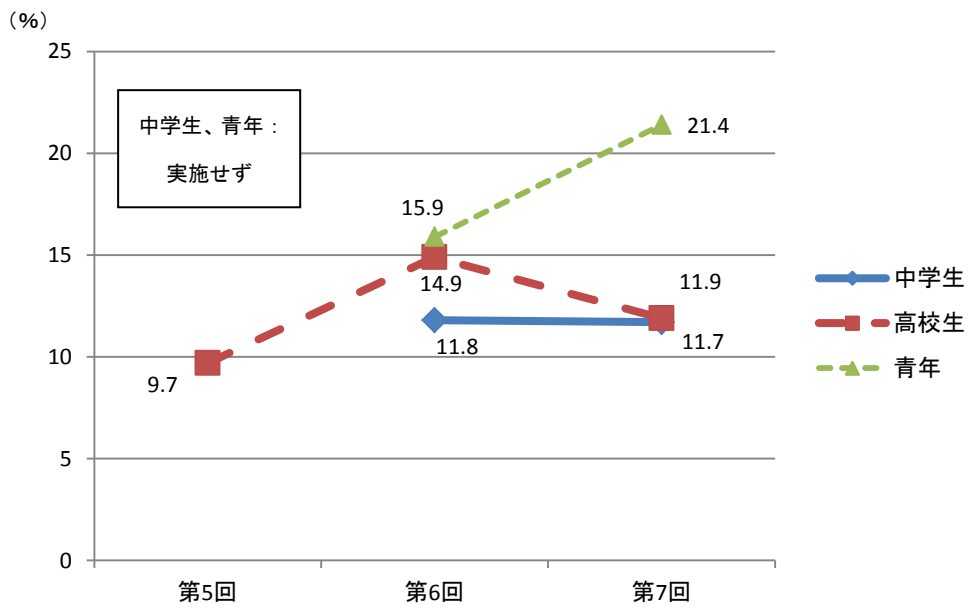
図 4.3.25



中学生、高校生、青年に、社会貢献活動について聞いたところ、中学生、高校生、青年の各年代で「自然や環境を守る活動」が最も多く、それぞれ45.5%、27.9%、33.9%となっています。次いで中学生では「救援活動・募金活動などへの参加活動」(28.7%)、「自分の知識や経験を社会に還元する活動」(25.3%)、高校生では「自分の知識や経験を社会に還元する活動」(24.9%)、「高齢者や障害者の介護者としての活動」(21.0%)、青年では「自分の知識や経験を社会に還元する活動」(32.7%)、「地域づくりへの参加活動」(25.0%)が多くなっています。

過年度調査との比較

図 4. 3. 26 「学問的・芸術的探求の活動」



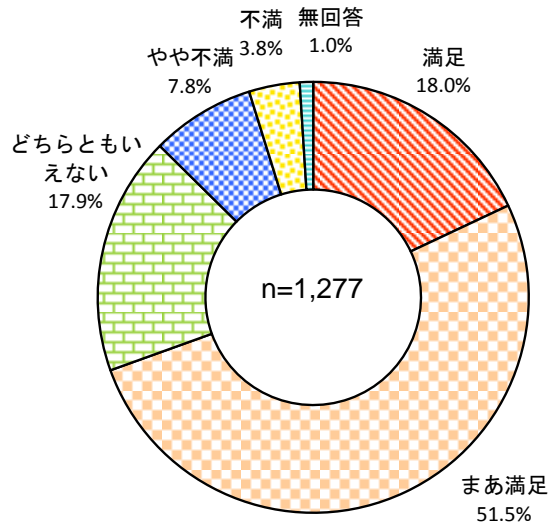
第5回、第6回調査と比較すると、青年の「学問的・芸術的探求の活動」が、第6回調査の15.9%から5.5ポイント増加しています。

(10) 子育ての観点からの居住地への満足度（保護者）

子育てという観点から、今住んでいる地域にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | |

図 4. 3. 27



保護者に、子育ての観点から今住んでいる地域への満足度を聞いたところ、「満足」が18.0%、「まあ満足」が51.5%と、満足している人の割合は計69.5%となっています。一方、不満に思っている人は、「やや不満」(7.8%)と、「不満」(3.8%)を合わせると、計11.6%となっています。